

志小安全・防災だより



R2. 1. 8 No.35
安全・防災担当: 早坂 潤

新年おめでとうございます。今年もよろしくお願ひ申し上げます。

6年生、震災復興祈念公園の一番上より180度見渡しました

12月19日に、6年生が総合的な学習の時間に校外学習（震災復興祈念公園の「祈りの丘」見学）に行ったときの様子です。この日は天気がよく、公園の頂上から自分たちのまちを一望するのにとてもよい日でした。子どもたちに震災復興祈念公園の「祈りの丘」から見えるまちが震災前にはどのようなになっていたのか、この公園が造られた目的等を佐良スタジオの佐藤信一さん（本校元PTA会長）が詳しく説明をしてくださいました。本校の子どもたちの中でここからの景色を一番初めに眺めたのは、6年生の子どもたちでしょう。子どもたちは、これから何度もこの丘から志津川のまちを眺める機会があると思います。その都度初めに見た景色と比べ、自分たちのまちがどんどん復興していることを感じていくのではないのでしょうか。今後、この公園がいつまでも避難所として使われないことを願っていると言っていた信一さんの言葉が心に残りました。



暮のニュースで丸森町の仮設住宅完成が報じられていました

南三陸町の方々と一緒に、11月に丸森町の筆甫地区に災害支援のボランティアで私も出かけてきました。このときは、仮設住宅建設工事の途中で、これから本格的な寒さを迎えるに当たり避難所生活を送られている人々の大変さを感じてきました。12月に仮設住宅が完成し、入居開始の様子がニュースで放映されていたのを見て、まず、よかったという気持ちです。仮設住宅を必要としている方々全員が入れること、そして一日でも早く復旧が進みもとの生活に戻れることを祈っております。



このとき参加していた歌津中の生徒たちの活躍がとてすばらしく、頼もしさを感じました。写真右は、倉庫の中に流れ込んできた土砂を運び出しているところです。土砂の他に大きな岩が転がりこんでいました。

